

ヤングケアラー・貧困 子どもと家族を孤立させない

学校生活に支障が出るほど家族のケアに追われる、衣食住すら十分に満たせない困窮の中で暮らすなど、支援を必要としながら地域の中で暮らす子どもたちへ、何ができるかを考える講演会です。

第一線で活動する講師の方々の実践談やグループワークを通して、助けが必要な子どもたちへのアプローチや支援について、立場を超えて話し合います。

地域で
支える

地域で
守る

2023年
9月18日(月・祝)

13:00~15:30 **参加費無料**

オンライン開催(ZOOMを使用します)

*パソコン、スマートフォン、タブレットからご参加いただけます。
*事前・事後のアンケートにご協力をお願いします。

申し込み方法

朝日新聞厚生文化事業団のHPからお申し込みください。

下のQRコードからもお申し込みできます。

申し込み締め切り:9月8日(金)

*参加者には、開催前日までにご登録のメールアドレス宛に参加用URLをお送りします。

9月15日(金)までに届かない場合は、事務局までメールでお問い合わせください。

*定員に達し次第、締め切ります。



プログラム

13:00 トークセッション(定員200名)
「支援が届きにくい子どもの実態・課題」

司会:横山恵子さん(横浜創英大学 看護学部長 精神看護学)

講師:持田恭子さん(一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会代表理事)

青木大三さん(一般社団法人Omoshiro理事)

栢谷礼路さん(NPO法人みらいず2理事)

石井花梨さん(社会福祉法人カリオン子どもセンター事務局長)

14:40 休憩

14:45 グループワーク(定員100名)
「子どものSOSへのアプローチ
~それぞれの立場でできること~」

数人のグループに分かれて、ヤングケアラーなど支援が届かない子どもたちに私たちが出来ることや、どうアプローチをするのがいいかなどを意見交換します。

15:30 終了